

# はっぽう

## 議会だより

峰浜のなしはおいしいよ

(峰浜小3年生 手づくりののぼりで特産をPR)



**9月**  
定例会

- 9月定例会ダイジェスト…………… 2ページ
- 決算特別委員会意見…………… 4ページ
- 一般質問 目次…………… 6ページ
- 一般質問…………… 7ページ
- おらほの議員ってこんな人…………… 14ページ



# 峰浜地区統合子ども園建設に 地質調

# 向けて 査費を可決



## 一般議案

●八峰町薬用植物収穫調整施設条例制定について  
施設を設置するため、必要事項を定め条例制定しました。

号)

追加補正  
1198万5千円を  
主な歳出：過年度精

●平成30年度八峰町公  
共下水道事業特別会計  
補正予算(第2号)  
2128万9千円を  
追加補正

●平成30年度八峰町合  
併処理浄化槽事業特別  
会計補正予算(第1  
号)  
35万円を追加補正  
主な歳出：一般会計  
への繰出金の追加

## 補正予算

●平成30年度八峰町一  
般会計補正予算(第2  
号)  
1億9537万2千  
円を追加補正  
主な歳出：今年10周  
年を迎える関東ふるさ  
と会に関する旅費・補  
助金、峰浜地区統合一  
ども園地質調査業務委  
託、田中橋橋梁補修工  
事、空き家除却推進事  
業費補助金等の追加

追加補正  
4585万5千円を  
主な歳出：過年度精  
算による償還金や一般  
会計繰出金などの追加

●平成30年度八峰町農  
業集落排水事業特別会  
計補正予算(第1号)  
329万円を追加  
主な歳出：一般会計  
への繰出金の追加

●平成30年度八峰町国  
民健康保険事業勘定特  
別会計補正予算(第1  
号)  
追加補正  
1072万4千円を  
主な歳出：公営企業  
会計移行のための固定  
資産調査等業務委託  
料、林道塙線改良工事  
に伴う導水管布設替え  
のための実施設計業務  
委託料などの追加

追加補正  
309万1千円を追  
加補正  
主な歳出：紫外線消  
毒装置電源ケーブルの  
修繕料及び一般会計へ  
の繰出金の追加

●平成30年度八峰町漁  
業集落排水事業特別会  
計補正予算(第1号)  
追加補正  
309万1千円を追  
加補正  
主な歳出：紫外線消  
毒装置電源ケーブルの  
修繕料及び一般会計へ  
の繰出金の追加

## 請願・陳情

### 採択された陳情

●食糧の安全・安心を  
図るために農産物検査  
法及び食品表示法の抜  
本の見直しが必要で  
す  
(「生き物共生農業  
を進める会」代表 今  
野茂樹、「美しい八郎  
潟を次代に残す会」代  
表 桑原秀夫、「(有)  
ライスランド大潟」代  
表 山田隆介)  
衆議院議長、参議院  
議長、内閣総理大臣、  
農林水産大臣、消費者  
庁長官に意見書を提出

### 私は反対します!

(見上議員)

農産物検査法「着色  
粒」既定の廃止、等級  
制の廃止が含まれてい  
る。検査が廃止になっ  
てしまうと消費者に秋  
田の米がおいしくな

という印象を与える恐  
れがある。

### 私は賛成します!

(山本議員)

農産物検査法及び食  
品表示法は、消費者に  
その利益が還元され  
ず、生産者ばかりに検  
査コストをかけさせて  
いることから、現行制  
度を見直しするべき。  
●消費者増税10%引き  
上げ中止を求める意見  
書提出の陳情書  
(「秋田県商工団体  
連合会」会長 児玉正  
憲)  
内閣総理大臣、総務  
大臣、財務大臣に意見  
書を提出

## 賛否が分かれた議案・陳情の採択結果 ○：賛成 ●：反対

賛否が分かれた議案・陳情を掲載しています。その他の議案はすべて全会一致で可決されました。  
議長は採決には加わりません。

	水木壽保	山本優人	奈良聡子	腰山良悦	須藤正人	芹田正嗣	見上政子	菊地 薫	笠原吉範	芦崎達美	皆川鉄也	門脇直樹	議決結果
平成29年度八峰町一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○		原認 案定
平成29年度八峰町国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○		原認 案定
平成29年度八峰町介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○		原認 案定
平成29年度八峰町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○		原認 案定
食糧の安全・安心を図るために農産物検査法及び食品表示法の抜本の見直しが必要で陳情について	○	○	●	○	●	○	●	○	○	○	○		採 択
食糧の安全・安心を図るために農産物検査法及び食品表示法の抜本の見直しを求める意見書提出について	○	○	●	○	●	○	●	○	○	○	○		原可 案決



## 議報告(特別委員会)

## 平成29年度決算審

### ここが聞きたい!

29年度の一般会計及び各種特別会計について町制全般にわたり、数多くの質問が出ました。

2分科会で審議し、原案認定しました。抜粋してお知らせします。

**問** 誕生祝金の金額を第1子から10万円にしたかどうか。また、少子化対策と関連付け金額を上げては。

**答** 現在第1子、第2子に5万円、第3子には10万円を贈呈している。三種町では第2子に20万円、第3子には30万円を贈呈しているようだ。新年度予算では少子化対策や定住促進施策等と結びつけ検討したい。

**問** ホームページが非常に見づらい。トップページから自分が求める情報にたどり着かないなど、その結果担当課に電話することになる。大幅な改善を望む。

**答** 現在のシステムは記事の作成しやすさを主眼に選定したものの。そのような問題があるとするれば改善策を検討する。

**問** 大館能代空港利用促進助成金が昨年度より増額している。来年度以降も増額するのか。

**答** 7、8年継続している事業であり、町民にも広く周知されていると感じる。近年は大幅な増額がないため、来年度以降は昨年の実績程度に留まるのではないかと。

**問** 豪雨や地震にあたり危険箇所を把握しているか。津波ばかりに気を取られず高台への避難だけでなく土砂災害にも注意すべきでは。

**答** 県では「土砂災害危険区域」とし急傾斜地、地滑り危険箇所等を発表している。昨年度、町地域防災計画を見直す際に危険箇所ごとの行動も定めた。危険箇所は八森地区に集中している。



土砂災害防災訓練(大久保岱)

**問** 就学援助費の前払いについての説明を。

**答** 前払いの対象品目は新入生学用品であり、子ども園年長児の保護者と小6児童保護者へ1月中に制度案内し、該当者へ3月中に支給している。

**問** 龍角散からの寄付金は用途が龍角散に限定されていないか。

**答** 町の生薬事業に活用するための寄付金であり、寄付金を活用しながら、引き続き生薬の販路拡大のため規模や生産の拡大に努める。

**問** 食材の入札方法は。栄養教諭が翌月の献立を決め、必要な食材をまとめ入札に参加している業者を送り、見積もりを給食センターへ届けてもらっている。そして安い業者に必要な食材を発注している。ただし、あ

**問** 図書カーンの利用状況は。町内の巡回場所はどこか。

**答** 29年度の利用者数述べ1882人、貸出冊数は7518冊と、かなりの利用実績がある。土日祝日を除き、毎日全町の集落と



移動図書館車「としよカーン」

**問** 峰浜土床体育館をLEDに変更したが、消費電力と明るさはどう変化したか。

**答** 今のところ、月平均2万3千円程度減額している。また、以前よりも照明が明るくなった。

**問** 施設を巡回しており、各集落には月2回巡回している。

**答** 対応した行政施策を行うためには、財源と人材の確保が必要であることから、より一層の効率的な行政の運営を求める。

**問** イベント用テナの有効活用をふるさと八峰応援基金で購入したイベント用テナが有効活用されていない。購入した目的や必要性に鑑み、今後はイベント等の際に有効活用を図ること。

**意見1** 健全な行財政の運営を  
多様な住民ニーズに

**意見4** コミュニティーセンター建設  
規模の適正化を

**意見2** イベント用テナの有効活用を  
ふるさと八峰応援基金で購入したイベント用テナが有効活用されていない。購入した目的や必要性に鑑み、今後はイベント等の際に有効活用を図ること。

**意見5** ハタハタ館トレニングルーム  
活用法の検討を  
利用者が減少し、機器等も耐用年数を超えて修理不能のものも出ていることから、撤去して休憩室等に転用するなど、利用者のニーズにあった使用を検討すること。

**意見3** 町バスの適正な管理と更新を  
老朽化した町バスの適宜更新を図り、車庫等の確保により適正な管理に努めること。

## 決算に対する 議員からの意見として

平成29年一般会計及び特別会計歳入歳出決算の審査では、議員から様々な意見や要望が提案され、議会終了後、町長に付帯意見として提出しました。その意見をご紹介します。町からの回答については、次号の議会だよりに掲載いたします。



ここが聞きたい

# ただ 町政を質す!!

## 7人の議員が一般質問

定例会2日目、3日目の一般質問では7名の議員が町政について質問しました。

<p>p7 芹田 正嗣 議員</p> <p>1 売上10億円を目指すしいたけ事業について</p>	<p>p8 見上 政子 議員</p> <p>1 障害者雇用の推進を 2 全町面積90%近い山の事情について 3 安全な道路と交通対策を</p>
<p>p9 山本 優人 議員</p> <p>1 風力発電事業への対応について 2 通学路等の安全対策について</p>	<p>p10 皆川 鉄也 議員</p> <p>1 わが町の農業展望について 2 新源泉利活用計画について</p>
<p>p11 水木 壽保 議員</p> <p>1 旧塙川小学校の利活用について 2 クマ被害防止対策について</p>	<p>p12 奈良 聡子 議員</p> <p>1 関係人口の創出について 2 生薬栽培事業について</p>
<p>p13 芦崎 達美 議員</p> <p>1 危険な空き家対策について 2 道の駅「お殿水」について</p>	

### 一般質問とは？

一般質問は、議員個人が町の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を町長などに求め、町政執行における所見や疑義について質問できるものです。

本町では、効率的な議会運営のため質問する議員があらかじめ議長に質問の趣旨などを知らせる「通告制」とし、議員はその内容に添って質問します。質問時間は1人につき質問答弁を含め55分以内で完了することとしております。再質問からは、一問一答方式が採用されており時間内であれば何度でも再質問ができます。

### 菌床生産計画通りか

#### 町長 研修生を募り 増産を目指す

**芹田** 町ではしいたけの売上げ10億円の生産目標を掲げ、第三セクター・峰浜培養では更に菌床ブロック100万本増産を目指し、新規就農者2名の研修を実施しているが、その生産・販売状況や生産農家の経営状況を含めた将来の展望は。

栽培を行う予定であり、引き続き新たな研修生を募集することとしている。

**町長** 30年度269万7千本の計画で、11農家にホダを出荷する予定だったが、一部生産者の栽培方法の変更やハウス増設に係る着工時期の遅れなどもあり、計画を見直し約19万本減の250万本とした。当初予定していたホダ生産を下回る見込みとなったが、31年度には2人の研修生が独立して

**芹田** 町の出資比率が約94%になっている峰浜培養にどう関わっていくのか。

販売状況については本年度の生産や販売は計画を下回る見込みとなったが、研修生の独立や新規研修生の募集等で生産増が見込めること、また販売計画については、資金計画への影響が行うことで経営に影響が出ないものと

**町長** 町の主要農産物の中で、販売額が5億円を超えるのは水稲以外では菌床しいたけであり、米に続く農産物として大きな可能性を秘めていると考えて10億円産業の実現に向け取り組んでいる。菌床しいたけは農家所得向上や雇用の拡大につながるなど必要な農産物であり、

### 一般質問

峰浜培養の役割は重要であると認識している。町としては、峰浜培養の経営が安定していかない面もあることから、当分の間は深く関わり、JAとともにしいたけ生産者への指導や支援を行い、販売額10億円とホダ生産300万個達成に向け努力していきたい。



芹田 正嗣 議員



生産増を目指すために建設された菌床しいたけ生産・栽培研修施設



### 障害者の雇用促進を

#### 町長 採用に努めたい

**見上**

障害者が短時間でも見合った仕事ができるよう、公共施設で雇用する考えは。

**町長**

町は、法定雇用者数をクリアする必要があり、能代山本障害者就業・生活支援センターや関係機関等から意見を求め、採用に努めたい。

### ナラ枯れと

#### 砂防ダムの実態は

#### 町長 調査し把握している

**見上**

ナラ枯れの実態の状況を把握は。

危険箇所への調査は行っているか。

**町長**

28年の調査では229本のナラ枯れを確認しており、補助事業を活用し防除、駆除に務めたい。

**町長**

砂防及び治山堰堤が375箇所。砂防堰堤については必要に応じて随時、治山堰堤については5年〜10年に1回の頻度で目視又は点検機器により、施設本体の損傷・変形・部材の腐食等について現地調査している。

**見上**

町には砂防ダムがどのくらいあり、経過年数、

### 安全な道路と

#### 交通対策を

#### 町長 除排雪を適宜行う

**見上**

冬期間の除雪の際、国道の交差点に除雪した雪を積み上げない等、安全な道路の確保を図れ。

**町長**

冬期間は国道と県道を除雪した雪の堆積場所となっており、降雪量の多いときには見通しが悪く危険性が増す状況にあり、国道及び県



安全な道路を確保するために除雪方法の検討を



見上 政子 議員

**町長**

道管理者の山本地域振興局へ以前より対策を講じるよう要望してきたが、交差点中央部の他に雪の堆積スペースが無いことから、排雪作業を適宜に行うことに対応しているのが現状となっている。今後とも山本地域振興局に要望したい。

**見上**

地域公共交通通会議に公募委員の参加を求める考えは。

### 風力問題に

#### もつと関心を

#### 町長 説明会等に

#### 職員を出席させる

**山本**

風力発電による低周波電磁波、振動など聞こえない、見えない、感じられない影響が知らず知らずの内に身体を蝕むかもしれない恐れが住民の不安なのであり、町としてこの問題に対し、無関心でいられない。町が果たす役割や立場から、何も方針を決めずに進むことは、町民の健康維持に反することとなる。

**町長**

平成28年度の国の報告書には、風車の低周波音と地域住民の健康被害との関連性は見られなかったが、健康被害はあつてはならないので、環境アセス法の部分で配慮書、方法書、準備書、評価書の段階を踏んでその都度住民

説明会等で健康被害を最優先にしてやってほしいという旨の意見書を提出している。関係自治体以外でもその説明会に出ることについては一向に構わない。関心のある人は全部関係住民になると考える。今後も段階的に説明会が開催されるため職員を出席させる。

研究会については町が問題等に予見を持って入ること自体好ましくない。

※環境アセス(メント)とは：大規模開発事業等による環境への影響を事前に調査することによって、予測、評価を行う手続のこと。略して「環境アセス」とも称する。



上空から見た風力発電設備 (沼田地区)

### 傾いた堀の危険解消を

#### 町長 国、県に要望する

**山本**

通学路の道路に傾いたコンクリート堀の危険性等、車に対し全く無防備な子供や高齢者の通学や通行の安全確保は。

**教育長**

「八峰町通学路交通安全プログラム」に基づいた通学路の安全に資する施策を推進し、児童生徒の通学時におけるより一層の安

**町長**

全確保に努める。県道・国道については、山本地域振興局に具体的な話として挙げて議論していきたい。



山本 優人 議員



# 農業振興を主体的に

## 町長 多様な事例を取り入れたい

皆川

農業の現状は農業従事者の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の拡大、基盤整備の立ち遅れ、農業所得の減少等課題が多く見られる。

皆川

国、県を挙げて構造改革を推進し農業の所得向上を図ることにより、若者が希望を持って就農できる環境を整えるため各種の施策を展開しているが、目に見えた結果にはなっていない。稲作からの脱却、複合経営の確立とは言うもの、これも思うに任せない。

町長

わが町の主産業であり地場産業である農業展望は、

町長

多様な担い手の育成等後継者確保対策や法人化等持続可能な体制づくりを推進させ、野菜

等高収益作物を促進するなど、土地生産性を高めるため様々な事業を展開し、本町の基幹産業である農業を魅力ある産業へと成長させるため努力する。

皆川

農家からの希望があればやるというのではなく、町が主体性を持って調査・研究・営農指導までやれるような専門部署を立ち上げ検討すべきでは。

町長

生産者の声だけに対応したままでは八峰町の農業の先細りが目に見える。農業、林業、漁業をなんとしても守っていくため、前へ出て外へ出て農家の方々に多様な事例を示し、それを取り入れていきたい。



基盤整備が望まれる圃場

# 新源泉の有効活用を

## 町長 長期的な視野で検討する

皆川

新源泉利活用検討委員会からの報告書をどう活かすのか。また、ハタハタ館の赤字経営やあきた白神体験センターの入込客の伸び悩み、湯つこうランドの老朽化など、関連する施設との有効手段や今後の方向性と計画は。

町長

この御所の台エリアは八峰町を元気にする大きな拠点と考えている。検討委員会からの提言も含め、ソフト対策はもとよりハード面の整備など今後も議会との意見交換や協議を重ねながら対応していきたい。



皆川 鉄也 議員

# 旧堀川小学校の利活用は

## 町長 地域の産業振興に

## 資する事業に活用する

水木

町では文科省の「みんなの廃校プロジェクト」を活用し、広く公募しているが、応募がない模様である。今後、利活用についてどう考えるか。

日本語学校としての利用等、ほかに校舎は使えるのか。

町長

使用法を含めて校舎は引き続き廃校プロジェクトで進めていきたい。

町長

現在、地元事業者から、体育館を利用して「わら縄」や「わら縄で編んだわら網」を作りたいという相談を受けており、地域資源を活用し、また、新規雇用が見込まれるなど、地域の産業振興に資する事業であることから、前向きな対応を考えている。

水木

養蜂家を目指す人が屋上を使いたいと言っている。また、



水木 壽保 議員

水木

県内では8月上旬まで

# クマ被害防止対策は

## 町長 注意喚起などに努め

## オリの設置、除伐など行う



県が注意喚起を促すパンフレット

に7名が人的被害を受けている。町でも民家や子ども園近くに出没しており危険性がより増している。これから活動が活発化するのはないかと住民も心配している。今後の対策は。

町長

春先から8月までに町に寄せられた目撃情報は51件となっている。町ではその都度、状況

に依じて猟友会員による緊急出動やオリの設置、防災無線による注意喚起などに努めている。今後も看板設置やチラシの全戸配布などで注意を促していく。さらに、町道八森山麓線で林地や原野の見通しを良くし、クマの出没を抑制するため除伐を行う「緩衝帯等整備事業」を実施したところであり、今後は県と協議し他地区での導入

も検討したい。また、農作物の取り残しや放任されて果樹等について伐採するよう周知し、個人で伐採できない場合は町で対応する。もう一つは、山間部にエサ場を確保することも検討する。



# 関係人口増加へ事業化を

## 町長 国の成果報告書

### 参考に検討

**奈良** 鹿角市では「みんなの鹿角家づくり事業」が国の関係人口創出モデル事業に採択された。八峰町も関係人口を増やすべく事業化を検討しては。また「ふるさと納税」の返礼品に「体験」を加えてはどうか。

**町長** 年度末にまとまる予定の関係人口創出モデル事業成果報告書を参考に

に事業実施の可能性を検討したい。提言については、「体験」へのニーズはあると期待されるので、具体的なメニューや受け入れ態勢について検討していく。

**奈良** 来年の報告までに町として何かやれないか。

**町長** 関係人口は町外の人だけではない。まずは役

場職員がイベント等に積極的に関われる環境づくりを進めたい。

※関係人口とは…移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる人々のこと



奈良 聡子 議員



町内飲食店が試作した薬膳メニューを講師がアドバイス

# 生薬栽培事業

## 今後の展開は

### 町長 生産拡大図り

#### ブランド化検討

**奈良** 生薬は希少価値と付加価値のある戦略作物。栽培が軌道に乗れば世界自然遺産白神山地の麓の生薬として産地間で優位に立てる可能性がある。事業展開につ

**町長** 本年2月龍角散より寄付があり、収穫作業の負担軽減や作業効率向上のために機械や備品を購入し作業場を整備

いて町の考えは。

**町長** 技術者については今後調べるが、農家の組合ができればそこに町が支援し、技術者の講演会や意見交換会等の開催を考えたい。

した。キキョウの薬膳料理メニューの開発にも取り組んでおり、年内には町内各飲食店のメニューが確定し、薬膳料理提供店のマップ作成を計画している。今後はキキョウの収穫調整作業の効率化と優良株の量産による収量増、栽培農家及び栽培面積の拡大を図り、本町生薬をブランド化するための商標登録についても検討する。

**奈良** キキョウの栽培技術が確立されていないなかで、農家は苦勞しながら栽培に取り組んでいる。技術支援について町長は。

# 危険な空き家の対策は

## 町長 空き家等対策計画の策定

**芦崎** 町内には300戸もの空き家があり、管理が行き届いていないところも多く、火災や環境衛生面で周辺の方々に心配や迷惑が及んでいる。

①危険な空き家に対する考えは

②連絡のつかない家主の空き家は

③環境衛生面での対策は

小限の措置をとらなければならぬ場合もあるが、管理放棄の助長にならないよう慎重な対応が必要である。

②連絡のつかない家主については、特別措置法において、その関係者が居住する地方自治体の長に対して必要な情報の提供を求める事ができる。法制度も活用し解決に努めたい。

③環境衛生面についても町の補助事業等を紹介しながら、関係者の責任において対処するよう責務の周知を図る。

現在町で把握している情報は平成25年度から27年度にかけて調査したものであり、5年が経過しているため最新の情報を把握し「空き家等対策計画」を策定、対処する。



町の北の玄関口である「お殿水」

# 道の駅「お殿水」の整備を

## 町長 町のイメージダウンにならないよう対処

**芦崎** お殿水は八峰町の北の玄関口であり多くの方々から利用されている施設であるが、ドアの

不具合や雨漏り、空調施設が未整備である。早めの修理やエアコンの設置を。

**町長** 修理や修繕は早急に行うとともに冷房施設等については適切な機種と設置場所を検討し来シーズンに間に合うよう備えたい。

**町長** ①八峰町空き家等の適正管理に関する条例から判断すると、危険な状態にある空き家は所有者または管理者が対応する責任がある。しかし、住民の生命や身体及び財産を災害から守ることは町の責務であり、これを放置することは公益に反すること。最急最



芦崎 達美 議員



# おらほの議員ってこんな人

第2回/4回

議会議員（12名）を紹介します。今回は議席番号4～6番の3名の登場です。



せり た ま さ つぶ  
芹 田 正 嗣  
(1期目)

障害者就労継続支援事業（A型）ハッピーマツシユ株式会社を経営しています。現在職員11名と利用者50数名とで365日仕事に励んでおります。みんな、明るく、楽しく頑張っています。議員活動は、「誠心誠意住民の為に頑張る。」これに尽きると思います。町発展のために一生懸命頑張ります。



す とう ま さ と  
須 藤 正 人  
(4期目)

町民の皆さんの思いを町制に反映させてまいります。皆さんのご意見をお寄せください。インフルエンザには十分気を付けてお過ごしください。



こし やま りょう えつ  
腰 山 良 悦  
(3期目)

社会に出てこれまで一度も地元を離れることなく地域の皆さんに支えられ 商売一途できました。早いもので、もう間もなく後期高齢者になります。でも、常に若い気持ちで議員として商人として、地域・町の為に前向きにこれからも頑張っていきたいと考えています。

※次回は、議席番号7～9番（見上政子議員、菊地薫議員、笠原吉範議員）を紹介します。

## 編集後記

豪雨による土砂災害や浸水、台風や地震による被害など自然の猛威が列島を襲っています。尊い人命が奪われ家屋が倒壊しました。被災地では、多くの人達が避難所や仮設住宅での生活を余儀なくされています。亡くなられた方や被害に遭われた皆様には、心よりご冥福を祈りお見舞いを申し上げます。

さて、そんな中、甲子園での金足農業高校野球部の活躍は秋田県民のみならず、被災地の皆様にも感動や勇気を与えたのではないのでしょうか。奇跡の逆転劇は決して偶然ではなく、金農ナインの弛まぬ努力の賜物でしょう。

我々八峰町議会も町民と一体となり、町が抱える様々な課題の解決を目指します。

(記 笠原吉範)



### ●議会広報編集委員会

委員長 皆川 鉄也  
副委員長 笠原 吉範  
委員 山本 聡子  
委員 山本 優人  
委員 腰山 良悦